

第1回「和歌山県事前通行規制の見直し検討委員会」 を開催します

和歌山県では、県管理道路における異常気象時の事前通行規制区間について見直しを行うため、学識経験者による委員会を設置し、1月にキックオフミーティングを開催したところです。

キックオフミーティングで議論を行った下記検討フローに基づき、①に関する検証内容について、当該委員会の意見を伺います。

なお、②以降については、次回以降の委員会に諮ることとしています。

(検討フロー)

- ①過去20年間における規制区間での降雨と災害発生状況
- ②事前通行規制に伴う経済損失の検討（規制を行って無災害の場合）
- ③社会的影響も踏まえた規制のあり方

※フローは今後の検討結果により変更する場合があります。

(会議について)

1. 日時 : 令和7年4月10日(木) 15時00分～
2. 場所 : 和歌山県庁南別館2階 防災研修室
3. 委員 : 別紙1のとおり
4. 取材 : 当日取材を希望される方は会場にて当日14時30分から受付を行います。カメラ撮影、取材は会議冒頭のみとさせていただきますので、ご了承ください。

なお、議事の概要(各委員からの主な発言内容等)については、後日資料提供を行います。

(連絡先)

県土整備部道路局道路保全課

担当 : 吉川、木本

電話 : 073-441-3119 (内線 3119)

和歌山県事前通行規制の見直し検討委員会

委員名簿・研究概要

(◎：委員長、敬称略)

◎多々納 裕一

京都大学防災研究所 教授 (災害リスク管理)

(主な研究内容)

総合防災学の確立に向けて、災害の社会経済的影響評価、災害リスクの軽減のための意思決定に関する方法論

小山 倫史

関西大学 教授 (地盤・岩盤)

(主な研究内容)

地震・降雨に起因する地盤災害に対する防災・減災に関する研究

山口 弘誠

京都大学防災研究所 准教授 (水文気象)

(主な研究内容)

豪雨災害に対する水文気象学的戦略の構築